



記録的な豪雨により河川はん濫や土砂災害が起き、道路や橋梁は損壊して孤立集落も発生した。住宅は全壊や床上・床下浸水などの被害を受け、危険から身を守るため、市民は避難所へ身を寄せた。ライフラインは寸断し、市民は不慣れた生活を強いられることになった。ここでは、今回の災害によって生じた被害についてまとめる。

人的被害

今回の豪雨は各地で土砂災害などを引き起こし、住民が巻き込まれる事態となった。

7月14日早朝、星野村鹿里地区では裏山が崩壊し、土砂が家屋に流れ込んで、住民がお亡くなりになった。また黒木町笠原地区では山崩れが起き、茶畑の見回りを行っていた男性が流れてきた土砂や流木に巻き込まれてお亡くなりになった。市内全域で2名の住民が死亡、10名の住民が重軽傷を負われた。

人的被害 (八女市災害対策本部のまとめ)

区分	人数
死者	2 (女性・星野、男性・黒木)
負傷者(重傷)	5
〃 (軽傷)	5

矢部川の状態

7月11日から断続的に降る雨により、13日午後から河川の水位が上昇した。

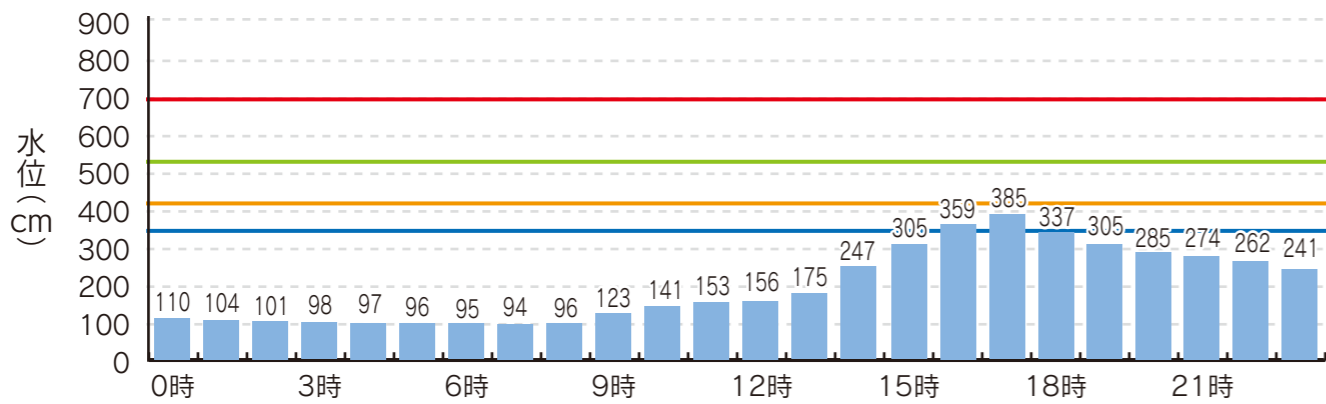
福岡県土整備部河川課のデータ(下記参照)によると、八女市柳瀬の中川原橋における水位は、14日3時に氾濫注意水位を超える448センチを観測。7時に氾濫危険水位を超える720センチを観測した。7時15分には、市災害対策本部に「中川原橋下まで約2メートル」という報告が入った。11時には一日間の最高水位となる847センチを観測した。その後、雨が小康状態となったことや、13時45分に柳川市において堤防が決壊したことにより水位は徐々に低下し、20時には水防団待機水位以下の水位となった。

今回の記録的な大雨は矢部川流域に大きな被害をもたらした。立花町の山下地区ではほとんどの住宅が床上浸水し、ボートでの救助が行われる事態となった。矢部川の矢原では、堤防が浸食され決壊寸前となった。宮野公園は公園全体が浸水し、大量のがれきやごみで埋め尽くされた。

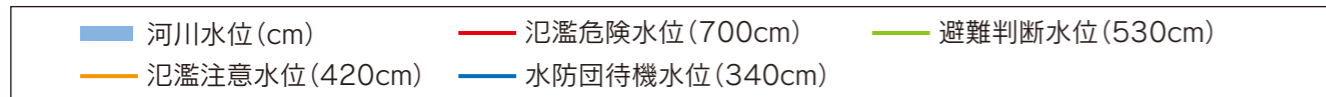
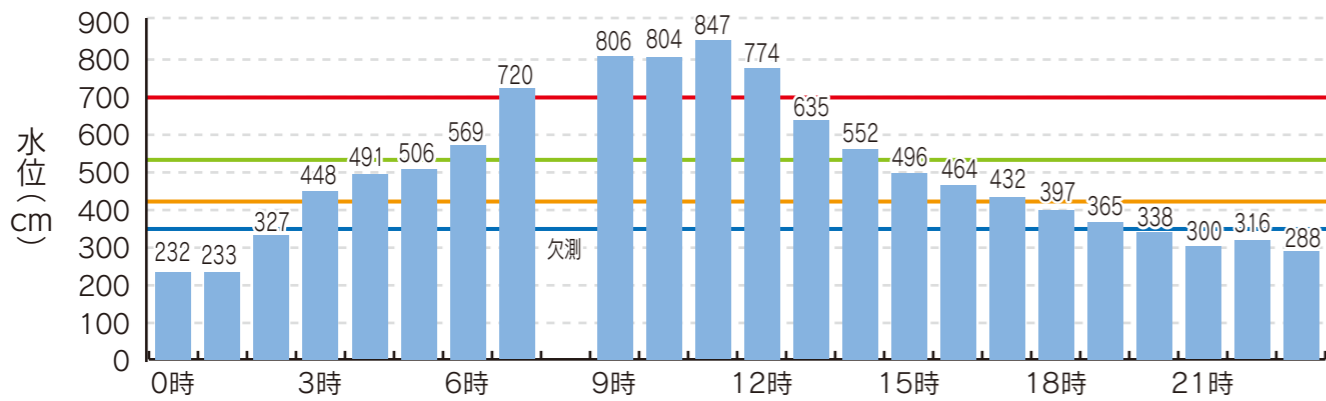
津江では結婚式場が濁流にのまれた。黒木の黒木大藤付近では大量のがれきやごみが堆積し、大きな被害をもたらした。

河川の状態

【平成24年7月13日】 中川原橋における矢部川の水位変化



【平成24年7月14日】 中川原橋における矢部川の水位変化



出典：福岡県土整備部河川課



水没した公園

▲宮野公園



橋のすぐ下まで水位が上昇

▲新矢部川橋



冠水した遊歩道

▲矢原



橋のすぐ下まで水位が上昇

▲立花町四方堂



川幅いっぱいに水位が上昇

▲八女立花



橋の下まで水が増水した様子

▲中川原橋(7月14日撮影)



増水した状況

▲宮野



決壊寸前になった堤防

▲矢原



公園一帯に流木等が堆積

▲宮野公園



冠水した道路の様子

▲立花町北山



道路まで増水した様子

▲立花町北山



矢部川が増水し、道路に水が溢れ出す様子

▲黒木町湯辺田



水没した水田やビニールハウスの様子

▲黒木町湯辺田



水が引いた後の様子

▲黒木町湯辺田



大きな被害を受けた結婚式場

▲津江



川の水があふれ、一帯が冠水した

▲祈祷院



田・畑・橋に被害が出る

▲黒木町一の渡瀬周辺(田代川)



洗掘された道路

▲黒木町一の渡瀬周辺(田代川)



一帯が冠水した剣ヶ淵橋周辺

▲黒木町剣ヶ淵橋



水が引いた後の状況

▲黒木町花宗導水路



道路際まで水位が上昇した

▲黒木町桑原



黒木大藤前の道路の様子

▲黒木町大藤付近



笠原川と矢部川の合流点の被害状況

▲黒木町大藤付近



道路に水が溢れ出した様子

▲矢部支所裏(御側川)



上空から見た日向神ダムの様子

▲矢部村日向神ダム



道路際まで増水している様子

▲矢部村神の窟地区(縦鶴川)



橋の一部が崩落した須崎橋

▲黒木町須崎橋の下(大谷川)



濁流で欄干が流された橋

▲矢部村石川内(矢部川)



洗掘された道路

▲矢部村女鹿野(御側川)



水が堤防を越えるまで増水した川

▲矢部村竹ノ払(縦鶴川)



▲山内橋下流



▲山内橋上流



▲祈祷院



▲祈祷院

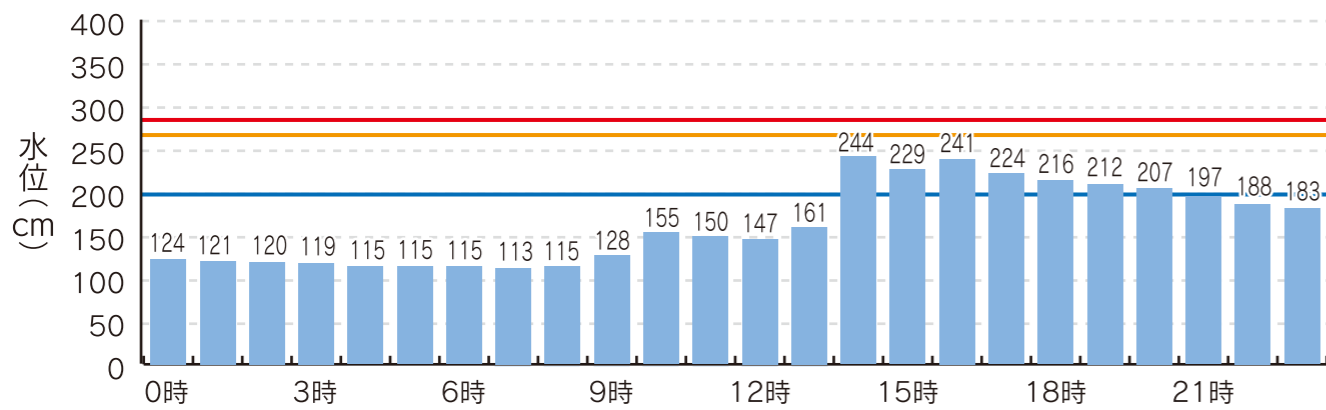


▲山内星野川と山の井川の中州一帯

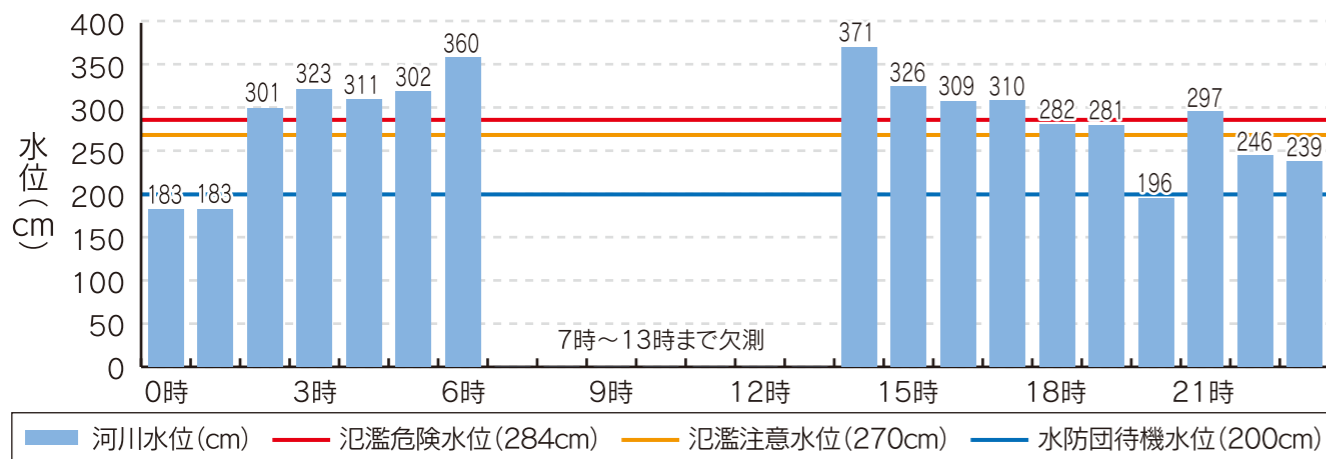


▲山内

【平成24年7月13日】 光延橋における星野川の水位変化



【平成24年7月14日】 光延橋における星野川の水位変化



出典：福岡県県土整備部河川課



▲祈祷院

福岡県県土整備部河川課のデータ（P19参照）によると、星野川光延橋の水位は、13日13時、水防団待機水位以下の161センチだったが、1時間後の14時に244センチを観測した。20時まで待機水位を上回り、その後、徐々に低下していった。

ところが、翌14日になると、1時に待機水位以下だった水位が急激に上昇し、2時に氾濫危険水位を超える301センチを観測した。7時から13時までには欠測しているが、欠測時も継続して氾濫危険水位を超えていたと考えられる。14時には最高水位となる371センチを観測した。

今回の記録的な大雨は星野川流域に大きな被害をもたらした。八女市祈祷院では川幅いっぱいに濁流があふれ、護岸には多くの流木やがれきが堆積した。山内地区では水天宮付近が浸水し孤立した。長野地区では多くの家屋が床上浸水の被害を受けた。星野川に架設された石橋や橋には多くの流木等が堆積し、大きな被害を受けた。

星野川沿いにある田畑等も氾濫による大きな被害を受けた。星野川沿いに走る県道八女香春線は、河川氾濫やがれ崩れ等により至るところで寸断され、市民に深刻な事態をもたらした。

星野川の状況



流木によって塞がれた道路

▲宮ヶ原橋付近



流木が堆積した宮ヶ原橋

▲宮ヶ原橋付近



欄干の一部が壊れた寄口橋

▲上陽町寄口橋



濁流が引いた後の宮ヶ原橋

▲宮ヶ原橋



洗玉橋付近に濁流が押し寄せる様子

▲上陽町北川内洗玉橋



上空から見た山内水天宮付近

▲山内水天宮上空



辺り一面が水没した長野地区の様子

▲長野



河川の氾濫により道路や護岸が洗掘された

▲星野村光延



川幅いっぱいに増水した様子

▲星野村半沢光延間



水位が上昇しビニールハウスに迫る様子

▲上陽町北川内



一部が崩れ、通行できなくなった道路

▲上陽町北川内



上空から見た黒木谷・光延地区の様子

▲星野村黒木谷・光延



濁流が迫る川岸の様子

▲星野村光延集落



道路際まで水が上昇した様子

▲上陽町小湊橋上流



川の水が道路にあふれている様子

▲上陽町北川内真名子



上空から見た星野村長瀬・上小野地区

▲星野村長瀬・上小野



大量の流木が堆積した岩下橋付近

▲上陽町岩下橋(横山川)



電柱やガードレールごと崩壊した道路

▲星野村コウモリ岩付近



大きくえぐられた道路

▲星野村コウモリ岩付近



護岸が崩れた川の様子

▲星野村長尾



濁流の被害を受けた建物

▲星野村長瀬



上空から見た八女市役所星野支所付近

▲星野村十籠



流木などが引っかかり、欄干が壊れた小川橋

▲星野村柱原



大きく削られた川岸

▲星野村柳原



河川の氾濫により道路や護岸が洗掘された

▲星野村千々谷付近



濁流が住宅に迫る様子

▲星野村天神橋付近



星野川の氾濫により寸断された県道

▲星野村コウモリ岩付近



流木と被災した家屋

▲黒木町笠原北向付近



削られた川岸

▲黒木町左上・振々付近



削られた川岸

▲黒木町左上・振々付近



橋脚に堆積した流木

▲黒木町中崎

笠原川の状況
矢部川の支流である笠原川でも川がはん濫した。特に流域の家屋や田畑は、流木や土砂、岩等を含む濁流に飲み込まれ、水が引いた後の川幅は数倍に広がった。
また、川沿いにあるきのこ村キャンプ場が、濁流に飲み込まれて原型をとどめないほどの被害を受けるなど、各所で大きな被害が出た。



護岸や道路が崩れた様子

▲黒木町椿原



川の増水により崩れた水田

▲黒木町南笠原

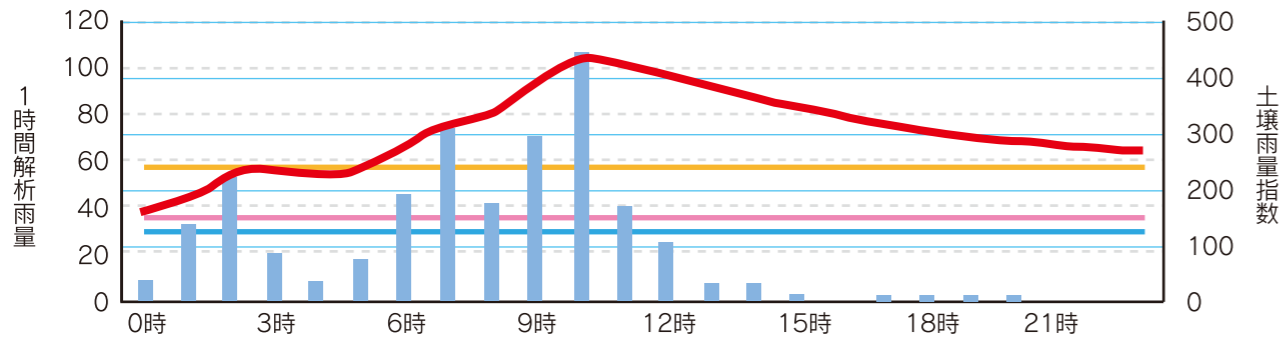


施設の大半が濁流に飲み込まれたきのこ村キャンプ場

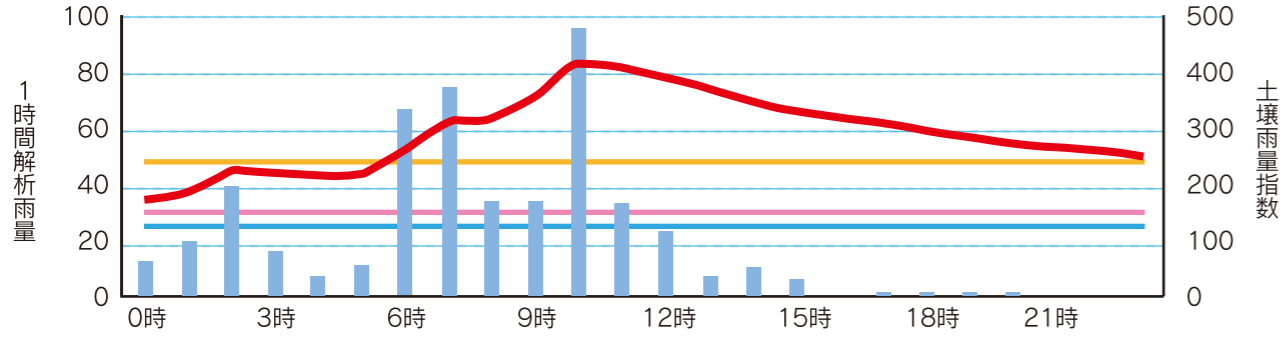
▲黒木町きのこ村

土壌雨量指数

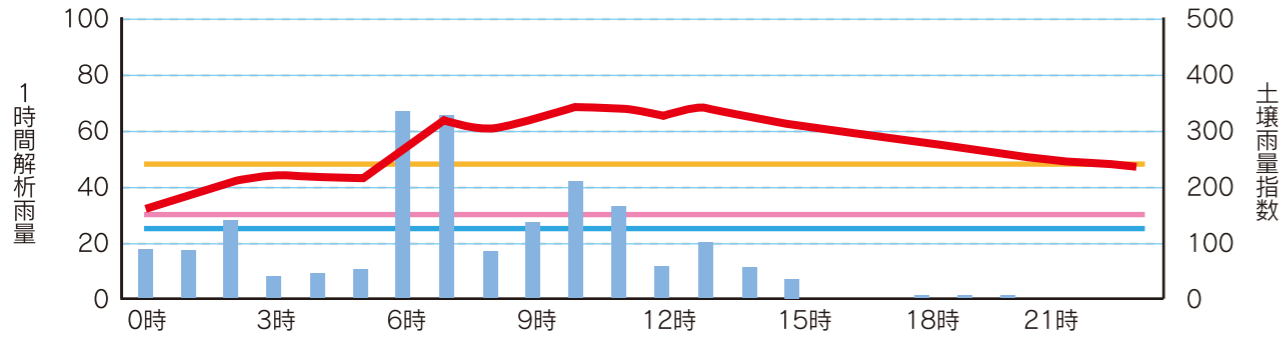
【平成24年7月14日】 黒木町笠原地区左上上の土壌雨量の変化



【平成24年7月14日】 上陽町久木原地区栗林の土壌雨量の変化



【平成24年7月14日】 星野村棕谷地区鹿里の土壌雨量の変化



■ 1時間解析雨量 ■ 土壌雨量指数の変化 ■ 土砂災害警戒情報基準
 ■ 大雨警報基準 ■ 大雨注意報基準

出典：福岡管区気象台



避難した教会の裏山でがけ崩れが発生し、様子を見守る住民

▲立花町北山天理教酒井田教会西側

土砂災害

今回の記録的な豪雨は、山間部を中心に至るところで土砂災害をもたらした。国土交通省の災害資料によると、福岡県下における八女市内の土砂災害の件数は他の地域に比べて特に多く、土石流32件、地すべり17件、がけ崩れ28件に及んでいる。福岡管区気象台が発表した「土壌雨量指数」をみると、黒木町、上陽町、星野村の土壌雨量指数は7月14日未明から土砂災害警戒情報基準値を上回った（P29参照）。同日10時に黒木町、上陽町で最大値を記録し、同指数は終日、土砂災害警戒情報基準値を上回った（P29参照）。大雨により土壌中の水分量が多くなった黒木町、上陽町、星野村では特に大きな地すべり、がけ崩れ、土石流が起き、甚大な被害となった。黒木町笠原地区では山腹が崩壊し、その規模は幅約310メートル、高さ約140メートルにも及んだ。上陽町北川内地区では山の斜面が幅50メートル、高さ100メートルに渡って崩れ落ち、土砂が道路を塞いで通行できなくなった。星野村柳原地区では幅約230メートル、高さ約275メートルに及ぶ地すべりが起き、土砂等が川に流れ込んでせき止め湖ができる事態となった。星野村や黒木町では土石流が直撃して倒壊する家屋もあった。矢部村ではがけ崩れによる山林の崩壊



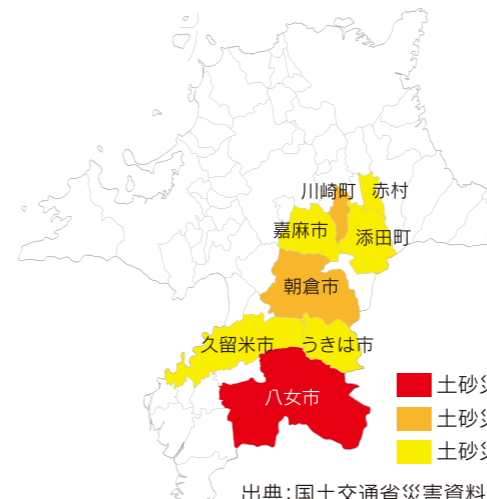
崩れた土砂で辺り一面が覆われた様子

▲立花町下辺春竹ノ迫



土砂崩れが起きた様子

▲立花町山下智願寺



嘉麻市 がけ崩れ 3件	川崎町 がけ崩れ 5件	赤村 がけ崩れ 3件
添田町 土石流 1件	朝倉市 土石流 1件 地すべり 1件 がけ崩れ 2件 山腹崩壊 1件	久留米市 土石流 1件 山腹崩壊 1件
	うきは市 土石流 3件 がけ崩れ 1件	八女市 土石流 32件 地すべり 17件 がけ崩れ 28件

■ 土砂災害件数が10件以上発生
 ■ 土砂災害件数が5～9件発生
 ■ 土砂災害件数が1～4件発生

出典：国土交通省災害資料(砂防部集計)

や山から崩れ落ちてきた土石によって道路が塞がれ通行できなくなった。立花町山下地区では住民が避難していた教会の裏山が崩れた。道路が寸断されて孤立集落も発生し、星野村では村全体が一時期、孤立する事態となった。八女市全域では、2,013世帯7,817人が孤立した。



上空から見た大規模山腹崩壊の様子

▲黒木町笠原田代(山腹崩壊)



かけ崩れによって塞がれた道路

▲黒木町今堂籠



大規模な被害が出た山腹崩壊

▲黒木町笠原下松尾



大量の土砂や木によって塞がれた道路

▲黒木町椿原



土砂崩れの様子

▲黒木町形形付近



土砂によって押しつぶされた建物

▲立花町北山鞍懸



土砂崩れで埋まった神社の階段

▲立花町玉垂宮階段



大規模の土砂崩れによって壊れ、濁流に流された水車公園

▲上陽町水車公園



木々を巻き込み民家を襲った土砂崩れの様子

▲上陽町杠葉



土砂崩れの様子

▲上陽町



大量の土石によって寸断された道路

▲市道原村～吉城線(星野村)



山崩れによって崩壊した山林

▲星野村栗木野



流れてきた土石によって塞がれた道路

▲矢部村日向神



木々が倒れ、通れなくなった道路

▲矢部村日出



土石で埋没した茶畑

▲星野村志屋



土石流の土石で埋まった民家

▲星野村上原



崩壊した山林

▲矢部村飛山林崩壊



崩れてきた土石によって塞がれた道路

▲矢部村御側



土石流によって甚大な被害を受けた住宅や茶畑

▲星野村志屋(土石流)



大規模地滑りの様子

▲星野村柳原地区(地滑り)

今回の豪雨は、市内の道路にも大きな被害をもたらした。

川岸が洗掘されて道路が崩れたり、がけ崩れの土砂で道路が塞がれたりした。川から溢れた水が地下に浸透して路面がひび割れたり、冠水して通れなくなる道路もあった。市内の多くの道路は通行止めとなった。八女市がまとめた「土木災害等被害状況一覧」(P63参照)では、市が管轄する道路の被害箇所は453カ所となった。中でも黒木町の被害は大きく、約半数の245カ所が被害を受けた。

また、市災害対策会議の報告資料では、7月19日8時時点で市内の国道、県道の全面通行止めの箇所は48カ所、片側通行止めは18カ所に及び、う回措置を取ると同時に懸命な応急復旧工事が続いた。

◇県道52号八女香春線

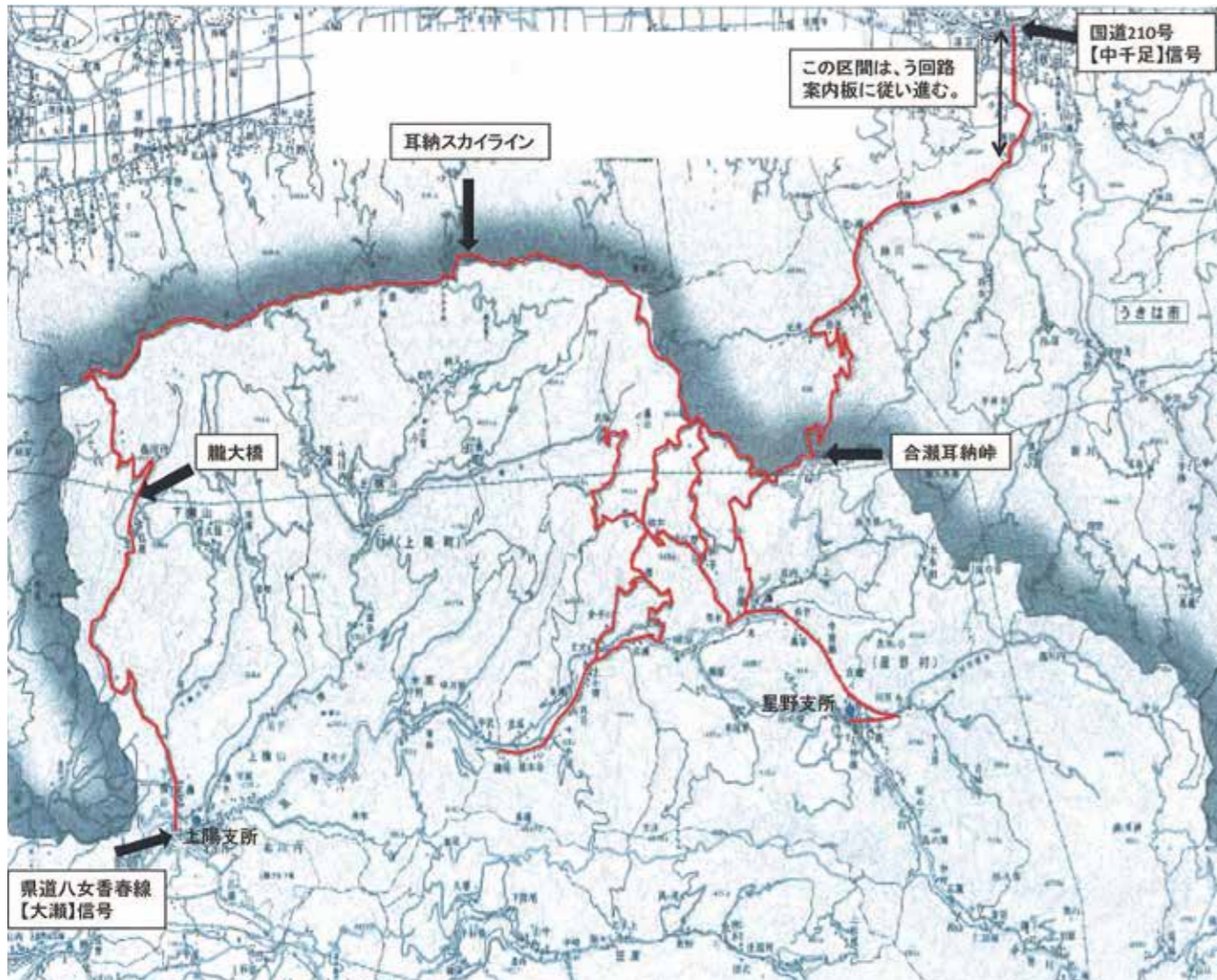
八女市街地から星野村を通り、うきは市へ続く県道八女香春線は、路面の大規模な崩壊や土砂崩れなどによって甚大な被害を受け、市民生活に大きなダメージを与えた。

山内地区内では土砂が道路を覆い、長野では濁流によって路面が崩壊した。上陽地区の大口では流木等が道路を封鎖した。水車公園付近では大規模な土砂崩れ等により道路が大規模崩壊した。半沢地区内では土砂崩れにより道路が覆われた。星野地区の柱原では道路が崩壊した。三段では大規模の土砂崩れにより道路が崩壊した。コウモリ岩付近では濁流により道路が大規模崩壊した。

う回路の一例

市内各所の道路は大きな被害を受け、多くの道路が通行止めになり(P34参照)、う回を余儀なくされた。中でも主要道路が寸断した星野村は孤立状態となり、星野村に入るには、耳納スカイラインを通るルートなどいくつかのう回路ができたが、いずれも山道を大きくう回することになり、生活に困難を来す状態が続いた。

星野村へのう回路



出典：八女市『星野村への迂回路』

①上陽町⇒耳納スカイラインルート

上陽町尻尾⇒龍大橋⇒耳納スカイライン⇒椋谷集落⇒合瀬、中渡瀬経由⇒星野支所
※要所に「星野方面う回路」の看板あり

②うきは市経由ルート(推奨ルート)

国道210号「中千足」交差点を耳納側へ⇒県道52号線へ通じるルート⇒県道52号線⇒合瀬耳納峠を右折⇒耳納スカイライン⇒椋谷集落⇒合瀬、中渡瀬経由⇒星野支所
※「中千足」交差点から県道52号線までは、案内看板のとおり進行する。
※合瀬耳納峠を右折してからは、要所に「星野方面う回路」の看板あり

③矢部村経由ルート

国道442号をグリーンピア八女へ迂回し黒木町大淵本田へ⇒国道442号⇒矢部体育館を左折⇒桑ノ平、論地畑経由し星野村柳集落へ⇒仁田原集落経由⇒星野支所

④国道3号線、矢部経由ルート

国道3号線⇒熊本県山鹿市(旧鹿北町)、岩野交差点を左折⇒県道黒木鹿北線をとおり、黒木町鹿牟田を経由し国道442号へ⇒国道442号⇒矢部体育館を左折⇒桑ノ平、論地畑経由し星野村柳集落へ⇒仁田原集落経由⇒星野支所



▲長野



▲上陽町大口

多くの災害箇所では、土砂やがれきの除去、土嚢積み等による応急復旧作業が行われ、全面通行止め規制が片側通行規制等に推移していったが、大規模災害となった箇所については復旧での対応が出来ず、本格復旧まで相当の時間を要する事態となった。

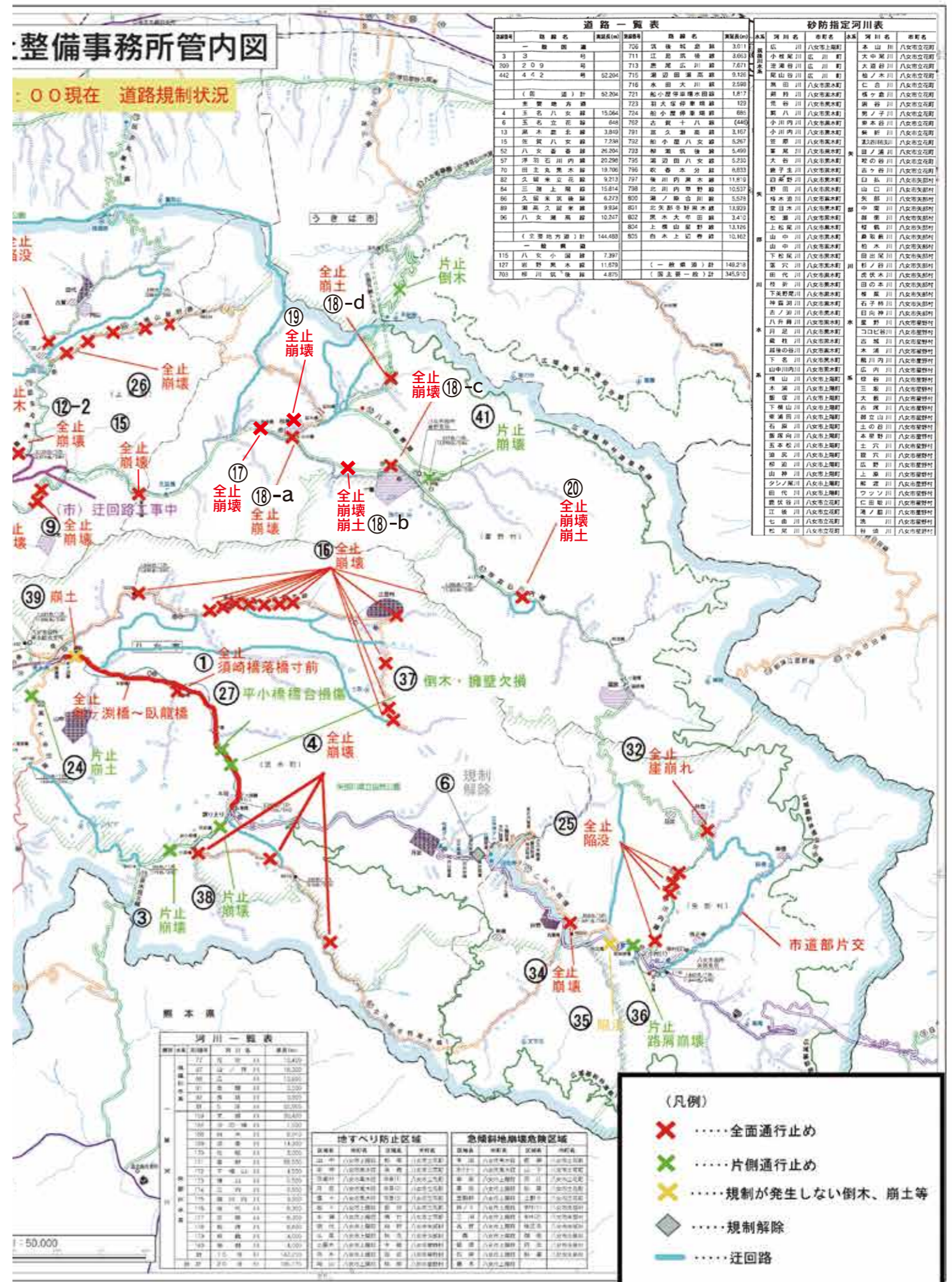
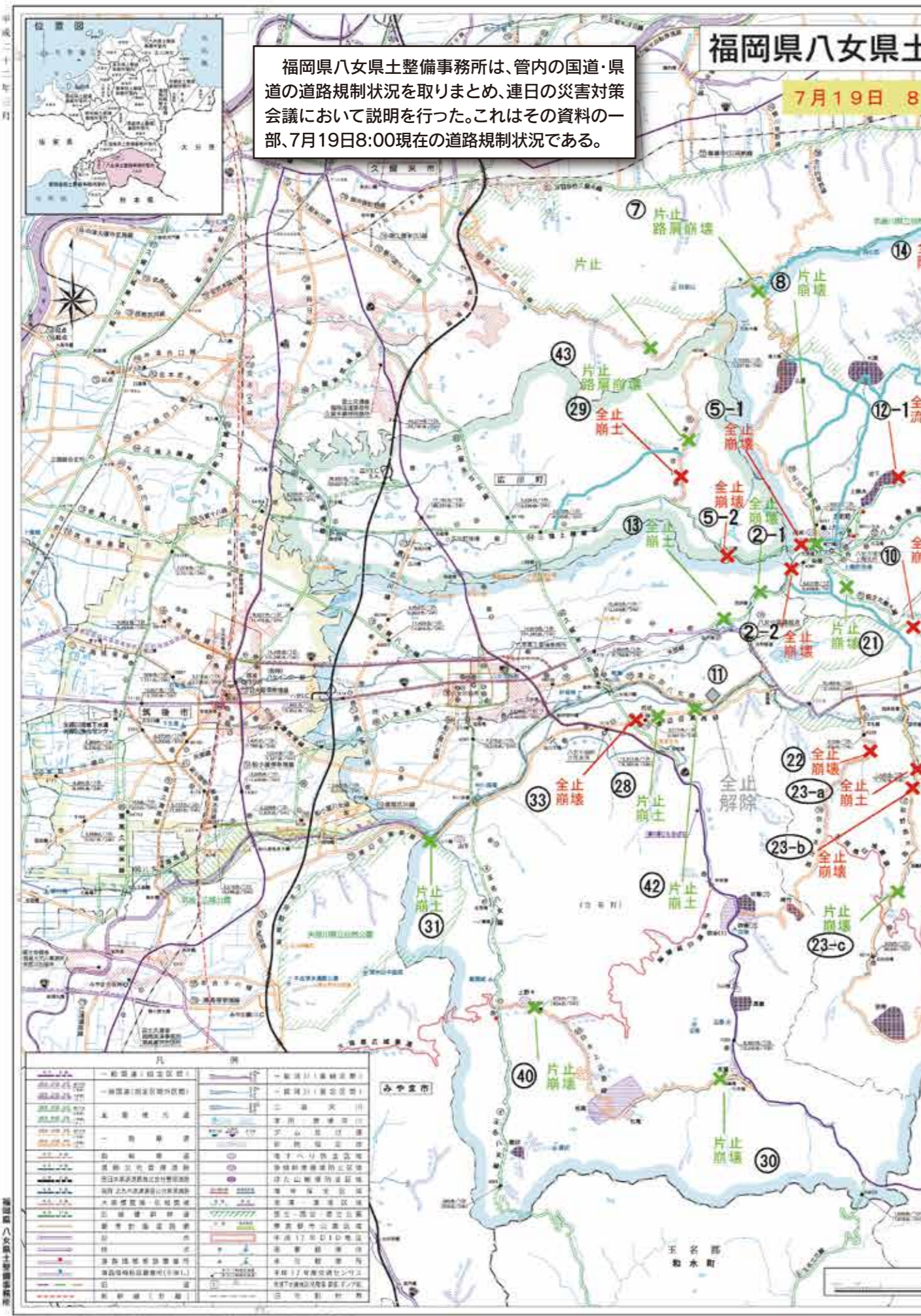
道路規制情報※国道、県道のみ表記

H24.7.19現在

	路線名	被災箇所	被災状況	規制内容	その他	地図番号
黒木町	国道442号	木屋 原地内	須崎橋落橋寸前	全面通行止	グリーンピア八女⇒大淵地区本田	1
	県道田主丸黒木線	黒木 西今地内	崩壊	全面通行止	西今集落⇒中原集落⇒試験場横⇒打越	10
	県道北矢部冬野黒木線	大淵 小原橋付近他	崩壊	全面通行止		4
	県道後川内黒木線	笠原 堂籠集落上流部他	崩壊	全面通行止	町道北木屋鱈八線⇒小川内集落⇒鬼の内	16
	県道後川内黒木線	笠原 積形地内	崩壊	全面通行止	町道北木屋鱈八線⇒小川内集落⇒鬼の内	16
	県道岩野黒木線	木屋 一の渡瀬地内他	崩土、崩壊	全面通行止	広域農道(オレンジロード)⇒黒木大牟田線	23-a,b
	県道岩野黒木線	木屋 一の渡瀬地内他	崩土、崩壊	全面通行止		23-c
県道吹原本分線	土窪 上名上流部	崩壊	全面通行止	広域農道(オレンジロード)⇒黒木大牟田線	22	
立花町	県道湯辺田瀬高線	光友 釘先地内	崩壊	全面通行止		33
上陽町	県道八女香春線	久木原地内	崩壊	全面通行止		9
	県道田主丸黒木線	岩下	流木、陥没	全面通行止		12-1,12-2
	県道田主丸黒木線	上横山	陥没	全面通行止		14
	県道三潴上陽線	下横山	崩壊	全面通行止		5-1
星野村	県道上横山星野線	上横山	崩壊	全面通行止		26
	県道八女香春線	縫尾	崩壊	全面通行止		15
	県道八女香春線	長尾	崩壊	全面通行止		17
	県道八女香春線	柱原	崩壊	全面通行止		18-a
	県道八女香春線	三段(尾迫)	崩土・崩壊	全面通行止		18-b
	県道八女香春線	コウモリ岩	崩壊	全面通行止		18-c
	県道八女香春線	上原	崩土	全面通行止		18-d
矢部村	県道上横山星野線	柱原	崩壊	全面通行止		19
	県道浮羽石川内線	金原	崩土・崩壊	全面通行止		20
	県道浮羽石川内線	北矢部	陥没	全面通行止		25
	県道浮羽石川内線	北矢部	崖崩れ	全面通行止		32
八女市	県道八女小国線	北矢部	崩壊	全面通行止		34
	県道八女香春線	山内地区内	崩壊	全面通行止	7/18 一部片側通行になる	2

※P36～37の地図と連動しています。

出典：『県道道路規制情報』





土砂や流木が1帯を埋め尽くした

▲星野村上原



寸断された道路

▲星野村長尾



土砂崩れで通れなくなった道路

▲星野村三段



ひび割れた道路

▲星野村三段



川の氾濫、土砂災害により崩壊した道路

▲上陽町久木原真名子



河川の氾濫によって大きく損壊し、全面通行止めになった道路

▲星野村コウモリ岩付近



ひび割れた道路

▲上陽町旧久木原小学校付近



土砂崩れにより全面通行止めになった水車小屋付近

▲上陽町真名子水車公園



道路の一部がえぐられて通れなくなった

▲星野村柱原



片側が崩れた道路

▲星野村縫尾

道路の被害

◇国道442号

市内を横断する国道442号は、八女市街地から黒木町、矢部村を通り、大分県日田市につながる重要な道路である。県道八女香春線同様、市民にとって大切なこの道路も大きな被害を受けた。

八女市長野地区、黒木町の堀川バス営業所付近や今地区など多くの箇所で道路が冠水し通行に支障をきたした。矢部川と笠原川が合流する黒木大藤付近では、上流から流れ着いた流木やがれき等によって道路一帯が埋め尽くされ、通行できなくなった。

国道442号に架かる須崎橋は大きく崩壊して落橋寸前になり黒木町大淵から北木屋までの区間が全面通行止めとなり、グリーンピア八女方面への迂回を余儀なくされ市民生活に不便をきたした。

黒木町大淵の黒岩トンネルの入口では、土砂崩れにより、一時通行できなくなった。



大量の流木やごみで埋め尽くされた黒木大藤前

▲黒木町大藤下



冠水した様子

▲黒木町黒木中町



冠水した様子

▲黒木町堀川バス営業所前



冠水した様子

▲長野三叉路



泥が堆積し、流木が散乱した道路

▲黒木町大藤付近



土砂で塞がれ一時通行不可になったトンネル

▲黒岩トンネル



上空から撮影した大藤付近

▲黒木町大藤付近



陥没によって通行止めになった須崎橋

▲黒木町須崎橋

2012/07/28 16:44



土砂崩れで塞がれた道路

▲県道浮羽石川内線(矢部村)



土砂や木で塞がれた道路

▲県道浮羽石川内線(星野村)



大きく陥没した道路

▲県道浮羽石川内線(矢部村)



一部が崩れた道路

▲県道八女小国線(矢部村)



大きく削られた道路

▲県道後川内黒木線(黒木町)



大きく崩れて、通れなくなった道路

▲市道古野向～小池線(星野村)



崩れて通行できなくなった道路

▲県道上横山星野線(星野村)



全面通行止めとなった道路

▲県道後川内黒木線(黒木町)

道路の被害

◇その他の道路

国道442号や県道八女香春線以外の県道や市道も大きな被害を受けた。県道後川内黒木線(笠原地区)は椿原地区を始めとして12カ所で道路が損壊して全面通行止めとなった。県道田主丸黒木線は、上陽地区の岩下ほか3カ所で、県道上横山星野線は、星野村柱原ほか5カ所で、県道浮羽石川内線は矢部及び星野地区内の6カ所で、県道岩野黒木線は2カ所で、県道吹春本分線は1カ所で、道路損壊やがけ崩れや流木堆積等により全面通行止めとなるなど、県道の被害は市内全域に及び、市民活動に甚大な影響を与えた。復旧復興にも多くの時間を要することになった。

市道等に係る被害はP63の資料に示す通り453カ所にも及んだ。濁流による道路の浸食、路肩の崩壊、道路の陥没や土砂崩れや山林崩壊等に起因する崩土などにより、市内至るところで道路被害が発生した。



▲県道三瀬上陽線(上陽町)

巨大な石で塞がれた道路



▲幹線林道星野線(星野村)

押し寄せた大量の流木



▲市道上原～村中線(星野村)

路面が波打つ道路



▲林道北矢部線(矢部村)

がけ崩れの土砂で覆われた道路



▲市道日向神線(矢部村)

大きく陥没した道路



▲市道川向～滝の脇線(星野村)

大きく削られた道路



▲市道星野～黒木線(星野村)

大きく削られた道路



▲市道縫尾～村中線(星野村)

大量の土石に覆われた道路



▲市道古野向～田の原線(星野村)

木々が倒れ、通行できなくなった道路



▲市道田の原線(星野村)

路面が波打つ道路



▲市道本星野～朝日当線(星野村)

大きく陥没した道路



▲市道滝の脇～熊渡線(星野村)

大きく損壊した道路



▲市道上原～炭床線(星野村)

大きく損壊した道路



2012/07/17 12:08
大きく崩落した須崎橋

▲大谷川須崎橋(黒木町)



橋の一部が崩れた志屋橋

▲星野川志屋橋(星野村)



大きく陥没した橋

▲星野川上星野川橋(星野村)



橋の一部が崩れた志屋橋

▲星野川志屋橋(星野村)

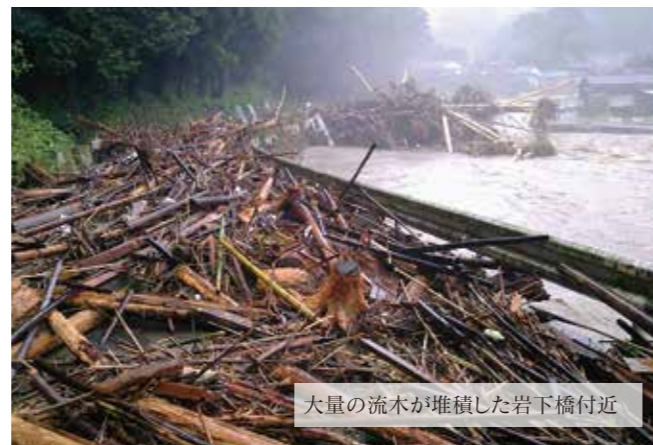
国道442号に架設されていた須崎橋が損壊して全面通行止めとなり、通勤、通学、物流等に大きな影響を与えることになった。グリーンピア八女方面へのう回を余儀なくされ、その長距離う回は10月3日まで続いた。また市内の多くの箇所集落間を結ぶ橋が流失や損壊等の被害を受けた。星野川に架設されている一、二、三、四橋と呼ばれる石橋も今回の濁流の影響を受け、欄干の流失や橋脚の一部崩落などの被害を受けた。黒木町においては、市の文化財に指定されていた木橋の「南仙橋」が流失した。

橋梁の被害



流出した白水橋跡

▲笠原川白水橋(黒木町)



大量の流木が堆積した岩下橋付近

▲横山川岩下橋流失(上陽町)



橋の欄干の一部が損壊した寄口橋

▲星野川寄口橋(上陽町)



流出した木造の南仙橋

▲矢部川南仙橋(黒木町)



流出した北向橋

▲笠原川北向橋(黒木町)



濁流に耐えた洗玉橋

▲星野川洗玉橋(上陽町)



流木が引っかかり、大きな被害を受けた宮ヶ原橋

▲星野川宮ヶ原橋(長野)



水が引いた後の大瀬橋

▲星野川大瀬橋(上陽町)



浸水被害の様子

▲立花町北山



床上浸水被害の様子

▲立花町北山



床上浸水被害の様子

▲立花町北山



床上浸水被害の様子

▲立花町北山



床上浸水の被害の様子

▲長野



水没した家屋

▲立花町北山



水没した家屋

▲立花町北山



水没した家屋

▲立花町北山



水没した家屋

▲立花町北山

建物の被害
 今回の災害による建物の被害は、全壊161棟(そのうち住家被害61棟)、大規模半壊・半壊208棟(同171棟)、一部損壊65棟(同48棟)、床上浸水722棟(同373棟)、床下浸水604棟(同590棟)に上った(P63参照)。
 床上・床下の浸水被害を受けた家屋にあつては、多量の土砂やがれきが流入し、家屋や家財道具等に大きな被害をもたらした。河川に隣接した家屋にあつては、濁流により護岸が浸食され、基礎部分が壊されて家屋が流出する等の事態も発生した。山間部にあつては、土石流等により、大小の岩石や流木が家屋を襲い、甚大な被害を受ける家屋が続出したほか、土砂崩れ等によって家屋が倒壊する等の被害が発生した。



基礎部分が流出した家屋

▲上陽町北川内



大きな被害を受けた川沿いの家屋

▲上陽町久木原



浸水し損壊した家屋

▲上陽町久木原



大きな被害を受けた川沿いの家屋

▲上陽町久木原



浸水した家屋

▲立花町北山



住宅に濁流が押し寄せる様子

▲長野



濁流により倒壊した家屋

▲山内水天宮付近



浸水被害を受けた家屋

▲祈祷院



浸水し、一部が損壊した家屋

▲長野



土砂が家屋まで迫る様子

▲立花町百田



大量の土砂が流れ込んだ家屋

▲立花町仁合



土砂が家屋まで迫る様子

▲星野村金原



大量の土砂が流れ込んだ家屋

▲星野村松株



土石流が直撃した家屋

▲星野村樋下



押し流され倒壊した家屋

▲星野村長瀬



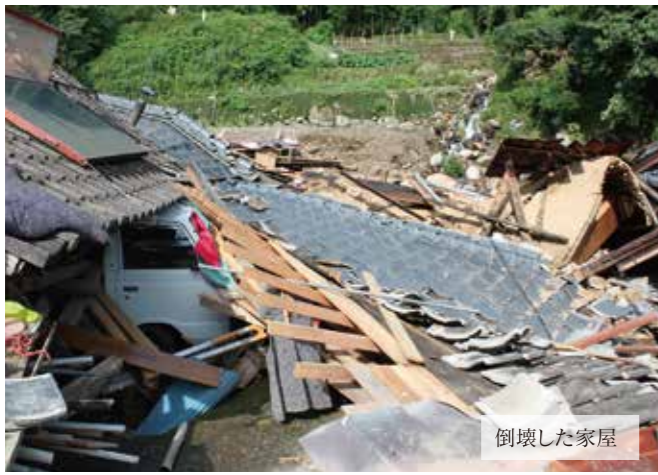
一部が大きく壊れた家屋

▲黒木町笠原



押し流され倒壊した家屋

▲黒木町笠原



倒壊した家屋

▲黒木町笠原



大量の土砂で埋め尽くされた家屋

▲黒木町笠原



河川の増水によって木々等が流入した家屋

▲星野村縫尾



河川の増水により土砂が流れ込んだ経木(薄板)工場

▲星野村縫尾



家の中まで土石が流れ込んだ家屋

▲黒木町笠原



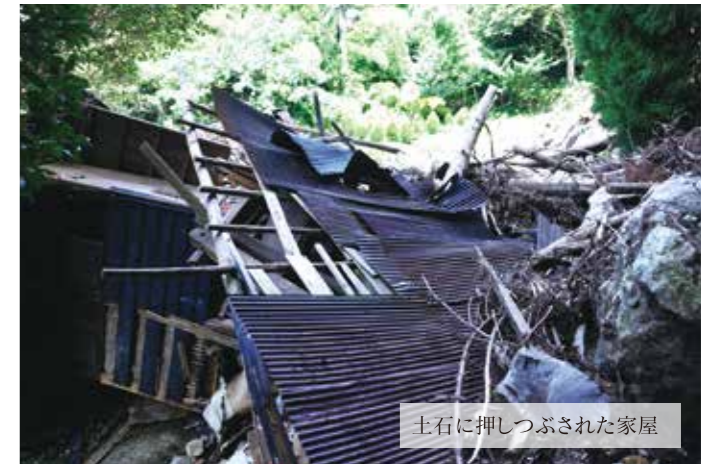
庭一面が土砂で埋まった家屋

▲黒木町笠原



河川の増水により基礎部分が流出した家屋

▲星野村中村



土石に押しつぶされた家屋

▲星野村樋下



押しつぶされた家屋

▲黒木町笠原



土石に埋もれた家屋

▲黒木町笠原



屋内に大きな石が流れ込んだ家屋

▲星野村上原



庭先が土石で埋まった家屋

▲星野村上小野



家の中が土砂で埋まった家屋

▲黒木町笠原



川の増水によって崩壊した建物

▲黒木町笠原



基礎部分が崩れ落ちた家屋

▲星野村迫



大量の土石が押し寄せ、埋もれた家屋

▲星野村縫尾



水が引いた後、大量の土石が堆積したキャンプ場

▲黒木町きのこ村キャンプ場

公共施設の被害

今回の災害は、市民の憩いの施設である公共施設や公園にも大きな被害をもたらした。

夏に多くの家族連れで賑わう「きのこ村キャンプ場（黒木町）」は、水遊び場として親しまれる笠原川のはん濫により施設の大半が濁流に飲み込まれ、壊滅的な被害を受けた。

「茶の文化館」（星野村）では、北側の斜面が崩落した。施設に直接的な影響はなかったものの、安全性確保のため、9月13日まで臨時休業とした。また「星の文化館・池の山荘キャンプ場」には駐車場等に土砂が流れこみ、その撤去と安全性の確保のため8月9日までの臨時休業を余儀なくされた。

「ほたると石橋の館」（上陽町）は、建物の基礎部の石積みが崩壊し、デッキ部分が立ち入り禁止となった。「ほたるの里公園」に架設されていた吊り橋は壊滅的な被害を受けて撤去された。

星野川流域にあった「水車公園」（上陽町）は、西側の山の斜面が高さ100メートル、幅50メートルに渡って地すべりを起こし、大量の土砂が道路に流れ込んで道路を封鎖した。この災害によって水車公園は崩れ、星野川の濁流に流された。

市民の憩いの場「宮野公園」（八女市）は、上流から流れてきた流木で埋め尽くされた。

また「南仙かわばた公園」（黒木町）や「千間土居公園」（立花町）も流木が散乱し、使用できなくなった。



土砂をかき出す女性グループの皆さん

▲星野村農産加工施設「星の里」



土砂が流れ込んだ農産加工施設

▲星野村農産加工施設「星の里」



大量の流木が堆積した公園内の様子

▲黒木町南仙かわばた公園



浸水し、流木が流れ込んだ公園

▲宮野公園



濁流により傾いた千間土居公園の東屋

▲立花町千間土居公園



土砂崩れにより流出した水車公園跡

▲上陽町水車公園跡



土砂崩れが起きた茶の文化館

▲星野村茶の文化館



大きくえぐり取られた護岸

▲星野村十籠団地



基礎部分の石積みが出した建物の様子

▲上陽町ほたると石橋の館



濁流にのまれて崩れたほたる橋

▲上陽町ほたる橋



山腹崩壊によって大きな被害を受けた茶畑

▲黒木町笠原



河川のはん濫により一部が流出した茶畑

▲矢部村



土石が流れ込み、大きな被害を受けた茶畑

▲黒木町笠原

農地・林地の被害

土砂災害によって農地・林地にも大きな被害が出た。

山の斜面は崩れ落ち、市の産業を支える茶畑が崩壊した。棚田を築いていた石垣は壊れ、大きな石や岩が田畑に流れ込み、またビニールハウスを直撃して使用できなくなる被害を受けた。

地すべりを起こした地域でも茶畑が無残な姿となった。谷川及び谷沿いの農地では、洪水によって川の護岸が浸食され、田畑が濁流に飲み込まれていった。水が引いた後の谷川の幅は何倍にも広がり、その様子は一変した。

井堰や用水路の流出、用水路や取水口への土砂の流入によって田畑に水を送れず、稲や電照菊、茶などの農作物にも大きな被害が出た。

平成24年に発表された「農災報告（P64参照）によると、田畑の被害は1,011カ所、被害推定額20億5,700万円に上り、農業用施設の被害は570カ所、被害額49億3,600万円になっている。また水稲や電照菊などの農作物の被害は234・27ヘクタール、5億501万3千円となり、茶やかんきつ類など永年性作物の被害は143・67ヘクタール、4億5,593万6千円に上った。



土砂崩れによって崩壊した茶畑

▲上陽町



土石が流入した茶畑

▲上陽町久木原



大きな被害が出た茶畑

▲黒木町馬渡



濁流によってなぎ倒された稲

▲星野村千々谷



棚田から水が溢れ出る様子

▲星野村広内



水があふれ出る様子

▲星野村中渡瀬



流木が散乱する水田

▲星野村十籠



石が散乱する棚田

▲星野村中渡瀬



崩れた棚田

▲星野村中渡瀬



土石が流入した畑

▲星野村上原



土砂が押し寄せ損壊したビニールハウス

▲黒木町下田代～中田代



大きく損壊したビニールハウス

▲星野村千々谷



濁流に流され跡形もなくなったビニールハウス

▲上陽町



崖崩れによって損壊した果樹園

▲黒木町田本



土石が大量に流入した茶畑

▲星野村縫尾

土木災害等 被害状況一覧

(単位:箇所、千円)

区分		本庁	黒木総合支所	立花支所	上陽支所	矢部支所	星野支所	計	
公共土木施設災害	道路	箇所数	5	245	86	24	18	75	453
		被害額	23,000	2,458,000	566,000	272,000	192,000	1,102,000	4,613,000
	河川	箇所数	10	109	58	24	30	58	289
		被害額	77,000	3,407,000	1,121,000	365,000	163,000	2,886,000	8,019,000
	橋梁	箇所数	2	5	0	2	1	3	13
		被害額	105,000	400,000	0	100,000	50,000	150,000	805,000
公園	箇所数	3	1	1	0	0	1	6	
	被害額	105,000	32,000	63,000	0	0	30,000	230,000	
計	箇所数	20	360	145	50	49	137	761	
	被害額	310,000	6,297,000	1,750,000	737,000	405,000	4,168,000	13,667,000	
農地・農業用施設災害	農地	箇所数	35	570	25	75	31	275	1,011
		被害額	160,000	1,070,000	45,000	189,000	50,000	543,000	2,057,000
	農道	箇所数	5	44	39	39	1	55	183
		被害額	30,000	132,000	199,000	195,000	10,000	227,000	793,000
	水路	箇所数	1	165	32	25	2	57	282
		被害額	2,000	798,000	128,000	140,000	5,000	372,000	1,445,000
その他	箇所数	3	37	4	13	3	45	105	
	被害額	309,000	1,004,000	25,000	410,000	76,000	874,000	2,698,000	
計	箇所数	44	816	100	152	37	432	1,581	
	被害額	501,000	3,004,000	397,000	934,000	141,000	2,016,000	6,993,000	
林道災害	箇所数	0	74	2	16	24	111	227	
	被害額	0	260,926	7,375	41,789	53,019	330,091	693,200	
公立社会教育施設災害	箇所数	0	2	0	0	0	0	2	
	被害額	0	7,300	0	0	0	0	7,300	
公立学校施設災害	箇所数	0	1	1	0	0	1	3	
	被害額	0	7,800	3,800	0	0	9,000	20,600	
合計	箇所数	64	1,253	248	218	110	681	2,574	
	被害額	811,000	9,577,026	2,158,175	1,712,789	599,019	6,523,091	21,381,100	

※その他の区分は、ため池、頭首工、揚水機、橋梁などである 出典:八女市『平成24年7月九州北部豪雨』土木災害等被害状況一覧

九州北部豪雨による八女市建物被害状況

建物被害(棟)

H24.10.1現在

	八女	立花	上陽	黒木	星野	矢部	計
全壊(流失を含む)	13	18	37	60	33	0	161
大規模半壊	9	5	5	13	8	0	40
半壊	63	46	16	20	22	1	168
床上浸水	230	172	46	152	120	2	722
一部損壊	11	17	9	20	6	2	65
床下浸水	200	148	50	162	39	5	604
計	526	406	163	427	228	10	1,760

内 住家被害(棟)

	八女	立花	上陽	黒木	星野	矢部	計
全壊(流失を含む)	4	4	13	27	13	0	61
大規模半壊	7	3	4	9	6	0	29
半壊	60	42	9	16	14	1	142
床上浸水	123	78	22	84	64	2	373
一部損壊	8	15	7	13	4	1	48
床下浸水	200	148	50	152	35	5	590
計	402	290	105	301	136	9	1,243

※全壊は流失を含む。全壊から一部損壊は、罹災証明件数による。

出典:八女市『被災件数(地区別)』

※床下浸水は、地域支援課へ報告を受けた件数。

被害状況一覧



崖崩れによって被害を受けた果樹園

▲立花町



損壊した水路

▲黒木町



損壊した農道

▲黒木町



崖崩れによって崩壊した山林

▲上陽町



崖崩れによって崩壊した山林

▲上陽町

農地・林地の被害

平成24年7月九州北部豪雨災害(農業関係)

農業生産基盤

区分	種別	箇所	被害額(千円)	被害概要
農業用施設	ため池	14	93,000	決壊及び一部損壊
	頭首工	66	1,562,000	決壊及び一部損壊、基幹水系の相当数が消失又は損
	農業用排水路	282	1,445,000	同上
	農道	183	793,000	崩土、決壊及び一部損壊等により通行不能箇所多し
	揚水機	5	13,000	破損
	橋梁	10	130,000	流失
	農地保全施設	7	750,000	崩壊
	災害関連	3	150,000	
	小計	570	4,936,000	
農地	田	525	1,044,000	流失、損壊、土砂流入等
	畑	486	1,013,000	流失、損壊、土砂流入等
	小計	1,011	2,057,000	
計		1,581	6,993,000	

農作物

区分	種別	面積(ha)	被害額(千円)	被害概要
農作物	水稻	110.0	133,903	概ね400haが冠水、河川沿は流失または大量の土砂堆積多し 通水不能箇所も多く、用水が早期確保できなければ今後被害拡大見込み
	電照菊	13.50	79,695	冠水、ハウス損壊による生育被害多し
	スプレーギク	0.52	5,060	
	洋ラン	0.12	1,992	
	菊	0.70	6,930	
	ガーベラ	0.40	19,227	
	バラ	0.30	20,292	
	シンテッポウユリ	0.40	12,528	崩壊、土砂流入による被害多し
	切枝(ニオイヒバ)	0.30	1,040	
	花木	3.00	3,840	
	ぶどう	11.10	20,196	
	すもも	3.75	4,000	崩壊、土砂流入による被害多し
	かんきつ	57.30	61,204	
	キウイフルーツ	15.50	51,168	
	いちじく	0.20	420	
	かき	0.34	182	
	いちご(苗)	5.97	23,650	
	夏秋なす	4.57	35,631	ハウス損壊、土砂流入による被害多し
	夏秋とまと	1.10	2,936	
	アスパラガス	2.10	13,485	
レイシ	1.80	2,080		
きゅうり	0.10	244		
ねぎ	1.20	5,310		
計		234.27	505,013	

区分	種別	永年性作物樹体被害		永年性作物販売被害		備考
		面積(ha)	被害額(千円)	面積(ha)	被害額(千円)	
永年性作物	茶	57.63	192,697	27.00	807,300	うんしゅうみかん、八朔、不知火
	かんきつ	55.50	175,330	19.70	337,404	
	ぶどう	6.48	20,625	2.56	62,732	
	なし	0.05	255	0.04	1,161	
	キウイフルーツ	18.00	54,425	10.44	272,850	
	もも	0.50	1,274	0.27	5,649	
	すもも	1.41	2,848	0.41	8,472	
	かき	0.70	1,231	0.19	2,981	
	うめ	1.60	1,704	0.30	2,344	
いちじく	1.80	5,547	0.92	12,218		
計		143.67	455,936	61.83	1,513,111	

農業生産施設

区分	種別	面積(m ²)	被害額(千円)	備考
農業生産施設	パイプハウス	113,046	382,970	全壊39棟、大破28棟、中破12棟、小破23棟 計102棟
	鉄骨ハウス	4,900	71,540	全壊5棟
	棚施設	16,000	16,100	全壊
	製茶工場		95,000	8件
	防霜施設	124,000	62,000	
	棚施設(玉露)	25,000	12,500	50件
	育苗床	3,330	2,500	3件
	その他、機械施設		77,103	ポンプ 暖房機、付帯施設等
計		286,276	719,713	

出典:『農災報告 平成24年7月九州北部豪雨災害(農業関係速報)』(平成24年8月16日)

第3章

八女市災害対策本部の動き

7月13日、大雨洪水警報が発令されると同時に、市は「災害警戒本部」を設置した。14日未明に降り出した雨は徐々に激しさを増し、危険な状態が予想されたため6時33分に「災害対策本部」を設置した。

かつて経験したことのない大災害を前に緊張が走る中、市災害対策本部は、関係機関とともに全力で災害の対応にあたった。



2013